



美濃加茂高等学校同窓会報

発行 美濃加茂高等学校同窓会 住所 〒505-0027 岐阜県美濃加茂市本郷町7丁目6-60 TEL. 0574-26-7181(代)
E-mail : mnkk96@minokamo.ed.jp URL : http://www.minokamo.ed.jp FAX. 0574-25-9048



学校法人 美濃加茂学園 美濃加茂中学校・美濃加茂高等学校全景 (平成22年5月撮影)



校訓
自主性
創造性
社会性

同窓会は母校の応援団

同窓会長 早川 港
(第三回昭和五十三年卒)



会員の皆様におかれましては、益々ご健勝にてご活躍のこととお慶び申し上げます。

昭和48年に開校し、本年度38年目を迎えております。開校した頃は施設環境も充分ではありませんでした。現在では、益々整備された環境の下、生徒たちは勉学に部活動にとそれぞれの分野に於いて優秀な成績を修めております。着実に発展を続ける母校の姿はうれしく感じると共に、私たちが卒業生の誇りでもあります。また、平成13年には中学校も設立され、中高一貫教育(ドリカムコース)も始まり、従来の蛸雪、アドバンス、チャレンジの各コース(以上普通科)、総合ビジネスコース(商業科)と共に充実の一途を辿っております。本年4月から施行された公立高校授業料の無償

同窓会会報発行に寄せて

学校長 赤崎 耕 二



同窓生の皆さん、こんにちは。高校部校長の赤崎と申します。校長を拜命して六年目になります。この度、同窓会会報を発行するに当たり、学園を代表して一言ご挨拶申し上げます。

早いもので、本校が創設されて今年で三十八年目を迎えています。その間、既に一三、九七〇名もの卒業生がこの学舎から巣立っていきました。同窓会も早川会長さんをはじめ多くの役員の方々のご協力をいただき、順調に運営されてきました。生徒減の時代にもかかわらず、現在生徒数は高校部九二〇名、中学部一四四名で、合わせて一、〇六四名の比較的大きな規模の学校になりました。皆さんの卒業年度にもよりますが、本校は外観も教育の内容や実績も随分変わったことをご存じ

化により母校を取り巻く環境は非常に厳しさを増しております。昨年と同じ活動をしていては生徒が本校を選択してくれない。そんな危機感を肌で感じ赤崎校長先生を先頭に諸先生方一丸となって懸命に頑張っておられます。

同窓会では、母校貢献はもちろんのこと13,970名の会員相互の親睦及び情報交流について役員の方々と協議を重ね、調査・分析を進めてまいりました。その結果、経験と実績豊かな専門会社に委託契約をさせていただくことにより、スムーズかつ効果的に本会報を発行することができました。この会報を通して同窓会の活動、情報、母校の生徒たちの活動状況を会員の皆様にご報告させていただくことが同窓会の組織を活性化し更に強い絆で母校を支えることとなると思います。

同窓会は母校の大応援団です。私はその団長として皆様の先頭に立って母校の発展の為に側面から支援させていただきたくので、今後とも会員の皆様のご協力をお願い申し上げます。

会員の皆様の益々のご活躍をお祈り申し上げますと共に、母校への今後とも変わらぬご支援を賜りますことをお願い申し上げます。ご挨拶と致します。

ない方もあるのではないのでしょうか。十年前には、中学校も設置され中高一貫教育も行っています。施設設備においては、県下のどの私立学校にも負けないほどの充実ぶりです。この春、心の教育を充実させるべく、柔剣道場「隆眞館」も完成しました。是非一度来校し、ご覧になって下さい。また、教育の中心についても、進学実績や部活動の成果はもちろん生徒指導の面において、他校に引けをとらない結果が出てきました。これもひとえに卒業生の皆さんが在学中努力を重ね、よき伝統を築いて下さった賜と深く感謝しております。

在校生は「青春の丘」で学び、創造的に活動しています。いま本校では、「建学の精神」に則り、社会性を養うために生徒たちが自ら進んで「明るく、元気に、礼儀正しい挨拶」ができるよう指導しています。そして、これまでの実績を礎にあらゆる面でさらに向上するよう、「One More Step」をスローガンに、生徒職員一丸となって取り組んでいます。卒業生の皆さんにとって、母校が自信と誇りを持つ学校になり、いつの日か「結実の丘」に同窓生が一堂に会する日を夢見て邁進して参りますので、これまで以上に応援よろしくお願ひします。

同窓生近況報告



■小笠原 智子

医師・独立行政法人国立病院機構災害医療センター救命救急センター医長
(第5回昭和55年卒)

私は現在東京都内にある救命救急センターで働いています。

早いもので、高校を卒業し30年が経ちます。当時はアドバンスクラスがあり、そこで色々なことを学ばせていただきました。しかし勉強に勤しむでもなく、あまり良い生徒ではなかったかと記憶しております。物心ついた頃には、父親は開業をしており漠然と医者になり、父親と一緒に働きたいというのが私の思いでした。知識を蓄えるわけでもなく医学部を受験しましたが、言わずと知れたことで合格するはずもなく、少し遠回りをしながら何とか現在に至っています。大学受験の時、ある先生に「おまえが医者になったら、俺は校庭を逆立ちしてやる」と言われたことは未だに記憶に残っています。現在ではこの言葉に後押しされていたと感謝しておりますが、当時は「ふざけるんじゃないよー」とはわたしが煮えくり返っていました。私は環境にも恵まれ自分の目指す道に進むことができ、やりがいのある仕事に就けていることに感謝しています。どんな職業であれ、世の中で不必要な仕事はありません。自分の仕事に誇りを持ち、もし夢があるのであればあきらめず、それに向かっただけで、必ず実りがあると思います。

美濃加茂高校を卒業し、早いもので二十年が経ちました。在学中私は野球部に所属し、平成二年夏の甲子園大会にも出場することができました。現在私は、仕事をしながら、休日に野球部の外部コーチとして部活動に携わらせていただいています。



■梶田 達也

公務員・美濃加茂市役所勤務
(第16回平成3年卒・野球部・平成2年夏の甲子園出場メンバー)

全てにも命があります。時々、生きることについて考えてみて下さい。少し宗教じみてしまいました。

私の在学中は、学校敷地内の合宿所で仲間と寝食を共にし、大変厳しくも微笑ましい高校生活を送っていました。現在の私が社会に出て生活するうえで、当時の経験は大変貴重であり、財産になっていることは間違いありません。勉強も不得意、野球も下手で大変苦労しましたが、だからこそ今はその体験談を野球部の生徒たちによく話します。「なぜ美濃加茂高校に入学した」と聞くと「甲子園に出場するためです」とほとんどの生徒は答えました。大変嬉しい答えですし、私も当時はそう信じていました。生徒たちとはそのことについてよく話します。

プロゴルファーの服部真夕です。プロに転向して3年目を迎えています。この間、所属先のINAX様をはじめ、多くの皆様方のご支援とご声援をいただき、プロ通算2勝(2008年11月2日/樋口久子IDC大家家具レディース・2010年4月25日/フジサンケイレディースクラシック)をあげることができました。プロ転向と同時に岡本綾子プロに師事し、指導を仰ぎながら、岡本さんの偉大な業績に少しでも近づこうとすることができるよう、日々努力を続けています。私の出身地は名古屋ですが、高校時代は顧問櫻井先生の可児市のご自宅に下宿をしながら通学し、放課後や休業日は練習・試合に明け暮れていました。ゴルフアールとしての私自身の大きな自信となったのは、2年生春の全国高等学校ゴルフ選手権春季大会個人戦での優勝です。この大会の歴代優勝者の中には横峰さくらプロ、諸見里しのぶプロの名前もあり、「私もプロになって活躍するぞ」と鼓舞したものです。将来の目標に向けての高いモチベーションをこの美濃加茂高等学校で得ることができ、そして、この3年間がプロゴルフアールとしての私の基盤になっています。プロという世界で戦い、長きにわたって第一線で活躍することが非常に厳しいことは想像に難くありませんが、カゼニモマケズアメリニモマケズ、自分自身と闘いながら努力していけば結果は必ずついてくると信じて、これからは勇往邁進するつもりでおりますので、今後とも変わらぬご声援を賜りますようお願いいたします。



■服部 真夕

プロゴルファー・INAX所属
(第31回平成18年卒・ゴルフ部)

せると、生徒たちと話しています。学校職員でもない私がこのような環境の中で生徒たちと共に学びながら多くの感動を与えていただいていることに大変感謝しております。卒業生代表のつもりで、これからは後輩たちに私が本校で培った様々な経験を伝えていきたいと思っています。

美濃加茂中学校高等学校(中高一貫6年間)ドリカムコースを卒業してからもう三年目となりました。卒業後、僕は同志社大学に入学し大学生活を楽しんでいます。大学生活は高校までとは違い、いろいろなことを自分で判断しなければなりません。何しろ自分が受ける授業計画さえも自分で組まなければならぬのですから。しかし、それは同時に自分で判断することができるとも言えます。特に一人暮らしをする身となってからは日々の生活全てが自己判断で行うことができます。



■谷 和哉

学生・同志社大学3年生
(第33回平成20年卒・プラスバンド部)

良くも悪くも「自由を手に入れた僕は現在大学でサークル活動をしています。内容はオーケストラです。高校時代(1~2年の時ですが)マーチングバンド部に所属していた僕は、大学に入っても音楽を続けたいと思いました。そして学生オーケストラは大学生のうちにはできないことだと思いい大学のオーケストラへの入団を決めました。高校の頃は、大学受験のことが生活のほとんどを占めていましたが、その時やっていた部活動が大学での生活の第一歩を決めたといっても過言ではありません。

職員紹介

同窓生職員

- ・白村 信幸 (第9回昭和59年卒・保健体育・硬式野球部監督)

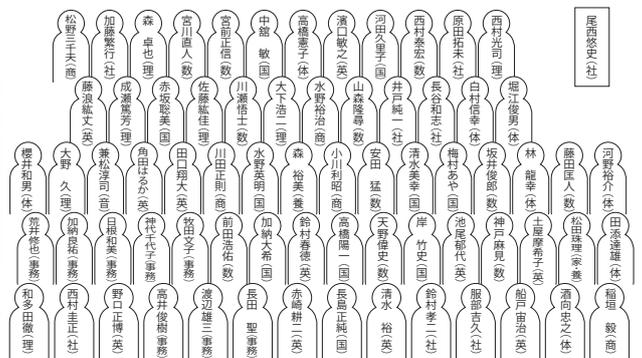
本校卒業生の皆様におかれましては、本校の発展に日頃からご尽力して頂き、誠にありがとうございます。
さて、私たち6名は本校で学び、本校に在職しております。美濃加茂高等学校の伝統を生徒(後輩)達に伝え、社会に貢献しうる有為な人材を育成し、美濃加茂学園の益々の発展を目指し頑張っております。

- ・加納 良祐 (第18回平成5年卒・事務職員・同窓会事務局担当)
- ・井戸 純一 (第19回平成6年卒・社会・ボート部顧問)
- ・河野 裕介 (第27回平成14年卒・保健体育・男子バスケットボール部顧問)
- ・高橋 陽一 (第28回平成15年卒・国語・中学校軟式野球部監督)
- ・奥村 雅治 (第29回平成16年卒・保健体育・ソフトテニス部顧問)



上段左から 河野裕介・早川港同窓会長
白村信幸・高橋陽一
下段左から 奥村雅治・井戸純一・加納良祐

現職員 (非常勤除く)



在校生紹介

今の私 未来の私

高校3年 普通科滑雪コース
高橋 祐二



私には裁判官になるという将来の夢があります。この夢の実現のために、自分自身を磨き上げることができる最高の舞台である東京大学文科一類への合格を目指し、日々の学習に取り組んでいます。しかし、裁判官として活躍するためには高度な専門知識や複雑化する社会に対応しうる豊かな教養を身につけるだけでは十分とはいえません。やはり、人を裁く聖職につく者にふさわしい器量、人間性を鍛え上げる必要があります。そのため、現在私は滑雪コースに在籍しながらバスケットボール部にも所属し、部活動を通じて困難に耐え、苦悩を乗り越える経験を重ねることで、自己の精神の保持と心身の強化にも取り組んでいます。近年、全国常連となったチームの実力は日に日に向上しており、私は毎日、7限目・8限目の授業が終わってからチームに合流するというハンディを背負いながらも、この全国レベルの仲間と共に、時に激しくぶつかり合い、日々の厳しいトレーニングに励んでいます。その結果、今年の県大会では優勝し、8月に沖縄で行われる全国大会に出場を決めることができました。まさに文武両道の生活に精一杯努めています。

美濃加茂高校に入学して早二年という月日が流れ、学業においても部活動においても今年は仕上げの年を迎えました。今、私は小学生のころから抱き続けてきた法曹への夢に着実に近づいていることを実感しています。この夢を確実に実現するためにも、今の自分にできること、やるべきことを見失うことなく、これまで以上に精進を重ねていこうと思っています。

在校生紹介

中学3年 中高一貫ドリカムコース
遠山 亜香音



私の母は看護師です。人の生命をあずかる看護師としての仕事をよく聞いていました。そのうち私も母のような看護師になりたいと思うようになりました。そのためにはしっかり勉強をしなければいけないこともわかってきました。

私の姉は美濃加茂中学に通っていましたが、毎日勉強している姿を見たり、中学校の様子を聞くなかで、私も美濃加茂中学でしっかり勉強し、自分の夢である看護師を目指そうと思い入学しました。

来年からは高校生になります。勉強は益々難しくなりますが、将来したい仕事に就くために、毎日の授業の1時間一時間を大切にしていこうと思います。また、学習面だけでなく、学校生活を通じて社会に出るときに必要な社会性も身につけていきたいと思っています。

美濃加茂中学高等学校の6年間、悔いのない学校生活を送っていききたいと思っています。

卒業生の進路状況

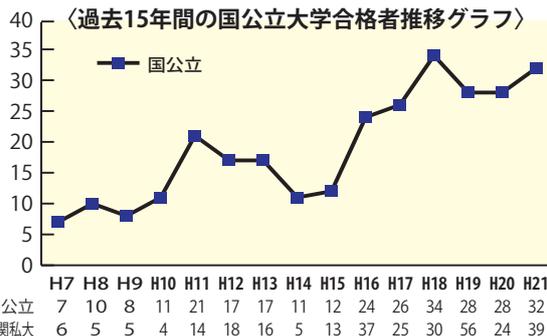
進路指導部長 船戸 宙治
就職指導主任 松野三千夫

ここ数年、国公立大学に30人前後の安定した合格者を出し、6年連続名古屋大学を含む旧帝国大学に合格している。昨年度は、名古屋大学に5名の現役合格者を出した(県下私立高校中、第1位実績)。私立大学においても、東海3県のみならず、東京6大学、関西の関・関・同・立と呼ばれる難関大への合格者を多数輩出している。以上のような実績は、朝の0限テスト、第7限目授業の実施、月例テスト(実力テスト)、進特講座(土曜講座)、CS講座(サテライト講座)等に対する生徒の努力はもたらんこと、教員の指導力アップも実績につながっている。

就職においては、雇用状況が最悪の中、早期から担当者が意欲的で丁寧な面接・論文などの指導を実施して就職戦線に立ち向ってきた。学校幹旋による就職率は100%を維持している。

〈21年度進路状況 卒業生 321名〉

進学			就職	その他
4年制大学	短期大学 (短期大学部)	専門学校		
53.9%	5.6%	18.1%	15.6%	6.8%



成22年5月現在

過去6年間の主な合格大学 (4年制大学)

大学名	H16	H17	H18	H19	H20	H21
国公立大学						
北海道大学	1					
東北大学						1
筑波大学		1				1
お茶の水女子大学	1					
東京外国語大学			1			
東京学芸大学		1				
一橋大学		1				
横浜国立大学	1					
富山大学		1	1			3
福井大学			1			
信州大学			4			
岐阜大学	2	7	7	5	8	2
静岡大学	2		1	1		2
愛知教育大学	1		1		2	
名古屋工業大学	1	1	1	1	1	
名古屋大学	2	1	2	3	1	5
三重大学		1				1
滋賀大学	2					
大阪大学	1					
岡山大学					1	
高知大学	1		1	1		1
首都大学東京	1			2		1
横浜市立大学				1		
岐阜薬科大学					2	1
愛知県立大学	1			1	1	2
名古屋市立大学	1	1	1	1	2	3
三重県立看護大学				1		
その他の国公立大学	6	11	13	11	10	9
4年制大学合計	24	26	34	28	28	32

私立大学						
青山学院大学	2			2	2	1
慶應義塾大学	1	1		1		
上智大学				1		3
中央大学	3	2	2	4	1	4
法政大学	1	1	2	6	3	5
明治大学	3	3	1	6	3	6
立教大学		1	1			2
早稲田大学	2	5	1	3	1	1
南山大学	25	30	9	31	15	27
同志社大学	5	2	1	5	2	6
立命館大学	11	6	17	14	8	8
関西大学	3	4	3	8	2	2
関西学院大学	6		2	6	2	1
その他の私立大学	234	276	403	276	262	255
私立大学合計	296	331	442	363	301	321

過去3年間の主な就職先

- 東海旅客鉄道(株) 東海鉄道事業本部
- カヤバ工業(株)
- 名古屋鉄道(株)
- バジエロ製造(株)
- 豊精密工業(株)
- 岐阜バス(株)
- 東海ゴム工業(株)
- 大王製紙(株)
- 日本特殊陶業(株)
- (株)メニコン
- 東洋紡績(株)
- めぐみの農業協同組合
- (株)今仙電機製作所
- (株)モンテール
- 大同メタル工業(株)
- 若尾製菓(株)



全部活集合写真



野球部

部活動



ボート部



ゴルフ部



陸上部



バスケットボール部



ソフトテニス部



バレーボール部



剣道部



ブラスバンド部



バントワリング部

部活動名・部員数	顧問名	主な成績・活動	平
硬式野球部 部員 61名	西村光司 白村信幸 宮川直人 尾西悠史 櫻井和男 水野裕治	甲子園出場(昭和55年・平成2年) 東海大会出場(春季・秋季過去計11回) 県下選抜高校野球大会 平成22年度春季岐阜県高校野球大会 国民体育大会 全国高校ゴルフ選手権 団体戦(H10, 12, 13, 14, 15, 16, 17, 18, 19, 20) 個人戦(H10, 12, 13, 14, 15, 16, 17, 18, 19, 20) 全国高校ゴルフ選手権春季大会 個人戦(H3, 8, 10, 11, 12, 13, 14, 15, 16, 17, 18, 19,) 日本ジュニア選手権(H10, 12, 13, 14, 15, 16, 17, 18, 19, 20) USAハワイ・ジャパンジュニアカップ日本代表	過去2回出場 出場 優勝(3回) ベスト8 優勝(2回) 出場(10回) 出場(10回) 出場(12回) 出場(10回) 出場
ゴルフ部 部員 31名			
ボート部 部員 19名	井戸純一 西村泰宏	全国高等学校総合体育大会 国民体育大会 全国選抜大会 世界ジュニア選手権(H元年・2年・4年)	過去15回出場(優勝2回) 過去16回出場(優勝2回) 過去7回出場(優勝1回) 過去3出場
陸上競技部 部員 69名	堀江俊男 長谷和志 川口佳恵 加納大希	国民体育大会(S62年 渡辺秀人 少年B800M 他5名) 東海高校総体(S61年～H22年まで連続出場) 全国高校総合体育大会(H1年 渡辺秀人 800M 他3名) ジュニアオリンピック(H4年 土田豊和 3000M 他7名) 都道府県対校女子駅伝(H3年 臼田百合恵) 全日本競歩大会(H10年 熊崎裕子 他1名)	出場 出場 出場 出場 出場 出場
男子バスケットボール部 部員 36名	林 龍幸 河野裕介	東海高校総体(8回出場) 全国高校総合体育大会(平成19年、22年 2回出場) 岐阜県選抜大会 全国選抜大会(平成18年、21年 2回出場) 岐阜県新人大会	準優勝(平成21年) 出場 優勝(2回) 出場 優勝(4回) ベスト16
女子バスケットボール部 部員 13名	高橋憲子 藤浪紘丈	岐阜県高校総合体育大会	ベスト16
男子ソフトテニス部 部員 50名	酒向忠之 奥村雅治 廣田貴之	全国高校総合体育大会 東海高校総合体育大会 全国高校選抜大会 平成21年度岐阜県高校新人大会男子	過去21回出場 過去28回出場 出場(平成5年) 優勝
女子ソフトテニス部 部員 17名	酒向忠之 廣田貴之	全国高校総合体育大会 東海高校総合体育大会 全国高校選抜大会	過去8回出場 過去12回出場 出場(平成3年)
男子ソフトボール部 部員 35名	藤田匡人 宮前正信 小川利昭	全国高校総合体育大会(S61～) 東海高校総合体育大会 全国高校選抜大会	過去10回出場 過去15回出場 過去8回出場
女子ソフトボール部 部員 13名	安田 猛 梅村あや 小川利昭	中濃地区総合体育大会(平成21年)	準優勝
男子バレーボール部 部員 15名	川瀬悟士 中舘 敏	全国私学大会東海大会(平成20年)	出場
女子バレーボール部 部員 30名	稲垣 毅 島崎 陽	岐阜県スプリングチャレンジカップ 2部B (H20, 21) 全国私学大会東海大会(H20, 21) 岐阜県総合体育大会	優勝 出場 ベスト16(平成21年)
サッカー部 部員 39名	濱口敏之 吉田 敬夫 田中康夫	中濃地区総合体育大会 全国高等学校サッカー選手権県予選 岐阜県高校総合体育大会 岐阜県高校サッカー新人戦中濃地区予選	準優勝(平成12年) ベスト8(平成7年) ベスト16(平成14年) ベスト4
剣道部 部員 33名	成瀬篤芳 原田拓未	東海大会出場男子個人・女子個人(H15年、18年、21年) 東海高校総体男子個人(H21年 西尾将成) 玉竜旗(全国大会) 岐阜県新人大会(H15年 磯貝慎兵)	過去3回出場 出場 出場(平成17年、21年) 3位
卓球部 部員 33名	田添達雄 田口翔大	東海卓球選手権大会 岐阜県総合体育大会男子団体 岐阜県中濃地区卓球選手権大会(団体)	出場(平成21年) ベスト8(平成21年) ベスト3(平成20年)
ブラスバンド部 部員 63名	兼松淳司 川田正則 飯田 収	マーチングバンド・パトントワリングフェスティバル(県大会) (H10, 11, 12, 13, 14, 15, 16, 17, 18, 19, 20, 21) マーチングバンド・パトントワリング東海大会 (H10, 11, 12, 13, 14, 15, 16, 17, 18, 19, 20, 21) マーチングバンド・パトントワリング全国大会 (H10, 11, 12, 13, 14, 15, 16, 17, 19, 20, 21)	銀、金賞 金賞(11回)・銀賞(1回) 銀賞(11回)
パトントワリング部 部員 16名	水野英明 石原志栞	マーチングバンド・パトントワリング東海大会 マーチングバンド・パトントワリング全国大会(H14, 16, 17, 19)	14年連続出場 出場(4回)
インターアクト部 部員 13名	赤坂聡美	インターアクト海外研修派遣(平成20年)	1名
茶華道部 部員 21名	森 裕美	各種学校行事(式典、文化祭等)校内展示	
放送部 部員 12名	佐藤紘佳	昼休みの放送を実施・各種学校行事(体育祭・文化祭等)放送司会他担当	
書道部 部員 41名	岩垂満千子 清水美幸	第63回岐阜県美術展青年部(平成21年) 岐阜県高校総合文化祭書道展(平成21年)	5名入選 1名優秀賞
情報通信部 部員 66名	大下浩二 水野裕治	情報通信関係補助授業等実施	

School event

学校行事

いろいろな学校行事を通じて自主性・創造性・社会性を育成する

春
4～6月



- 入学式（中学・高校合同）
- PTA後援会総会・同窓会役員会
- 球技大会
- 白樺湖宿泊研修（1年生）
- 避難訓練
- 前期中間試験
- 美濃加茂学園杯中学生剣道大会
- 壮行会
- 保護者懇談会
- 中学生バレーボールチャレンジカップ






夏
7～9月



- 大学見学
- 学童(小学生)軟式野球大会
- 中濃総合体育大会
- 野球応援
- 中学生学校見学会（夏休み）
- 夏季進学補習講座
- 文化祭
- 前期期末試験
- 創立記念日
- オーストラリア姉妹校
ジェネシス・クリスチャン・カレッジ
生徒・職員来校






秋
10～12月



- 教育講演会
- 体育祭
- オープンスクール（2回）
- PTA支援事業
- 修学旅行（高校・沖縄）
- 進学講演会
- プラス・バトン演技演奏会
- 後期中間試験
- 保護者懇談会
- 冬季進学補習講座
- 中学校Ⅰ期入学試験







冬
1～3月



- 中学校Ⅱ期入学試験
- 中学校Ⅲ期入学試験
- センター試験出陣式
- 推薦・一般奨学生入試
- 一般入学試験
- 持久走大会
- オーストラリア研修（中学）
- 3年生を送る会
- 卒業式
- 後期期末試験
- 終業式
- 春季進学補習講座
- 新入生教育ガイダンス






美濃加茂中学校



平成十三年に中高一貫教育を掲げて、「ドリカムコース」が誕生しました。「知・徳・体」のバランスのとれた生徒づくりという建学の精神を基盤に、地域の人々から愛される学校を目指して設立されました。

中高一貫教育のメリットは、十二才から十八才という多感な六年間を一貫した教育方針で指導できることです。本中学の特色として、中高一貫システムを採り入れ、「国際理解教育」「情報教育」「少人数個別指導」を掲げてスタートしました。当時の世相は「生きる力」「ゆとりの教育」が重視されていましたから、私たちの「中高一貫教育で学力を養成する」という基本



中学校誕生から十年！

校長 長島 正純

方針にとつては、大変助かりました。何故なら十年後の学習指導要領の改訂は、絶対、学力重視になると分かっていましたから。

結局、一期生は四十六名、二期生は五十一名、三期生は四十一名、四期生は四十八名と順調に生徒たちも入学してくれました。現在、このドリカムコースには、中学生一四四名、高校生を含めると二五三名が在籍しています。開校当初は、よく保護者から「私たちはこの学校を信頼していますから、この学校の先生を信用していますから・・・。」と言っていたように覚えています。実のところ、プレッシャーにもなりませんが、大変嬉しかったですね。また、励みにもなり、心より感謝しています。

今、十年の月日が経ち、一期生から今春の四期生までの卒業生の実績を見て、入学しています。言葉に出さなくても、学校や私たち教師を信頼していただいていることが伺え、大変嬉しく思っています。

将来に向けての学校ビジョンは、やはり「人間づくり」だと思います。「美濃加茂中高を卒業した生徒は、思いやりを持ち何事も一生懸命取り組む素晴らしい人間だよ。」と言われるような教育を目指し全職員で取り組んでいきたいと考えています。

部活動

学業を重視し、勉強と部活、そして心のバランスの取れた人間づくりの場と考えています。

地区大会優勝
女子バレー部



市大会優勝
軟式野球部



中高一貫 ドリカム コース

6年間を見通したゆとりある教育で、個性を伸ばし、才能を開花させる教育を実践しています。



進学状況

これまでの主な合格先

東北大学・筑波大学・名古屋大学・岐阜大学・静岡大学・富山大学・三重大学(医)・首都大学東京・岡山大学(歯)・愛知県立大学・名古屋市立大学・岐阜薬科大学・青山学院大学・上智大学・中央大学・早稲田大学・慶応大学・明治大学・立教大学・南山大学・名城大学・愛知大学・中京大学・同志社大学・立命館大学・関西学院大学・関西大学
など



国際理解 教育

受験英語、AETによる授業、英検指導を行い、3年生には9日間のオーストラリア研修を実施しています。



美濃加茂中学高等学校 入試日程

問い合わせ先
TEL 0574-26-7181
美濃加茂中学高等学校 入試係

中学部	オープン模試 10月30日(土)	I期入試 12月18日(土)	II期入試 1月8日(土)	III期入試 2月19日(土)
高校部	第1回オープンスクール 10月9日(土)	第2回オープンスクール 11月6日(土)	推薦・一般奨学生入試 1月15日(土)	一般入試 1月29日(土)



施設紹介



生徒数一覧

(平成22年5月1日現在)

【高等学校】		第1学年	第2学年	第3学年	計
普通科	ドリカムコース (中高一貫6年間コース)	43	35	31	109
	蛭雪コース	16	21	22	59
	アドバンスコース	73	79	98	250
	チャレンジコース	111	112	100	323
商業科	総合ビジネスコース	49	71	59	179
計		292	318	310	920

【中学校(中高一貫6年間コース)】		第1学年	第2学年	第3学年	計
		43	52	49	144

美濃加茂学園年表

年号	事項
昭和48年	4月 美濃加茂高等学校鉄筋3階建校舎完成
	4月 美濃加茂高等学校開校
	11月 美濃加茂高等学校鉄筋4階建校舎完成
昭和50年	12月 美濃加茂高等学校体育館(現第2体育館)完成
昭和51年	7月 美濃加茂高等学校寄宿舎(現セミナーハウス)完成
昭和58年	10月 美濃加茂高等学校創立10周年記念式典
平成5年	9月 美濃加茂高等学校創立20周年記念式典
平成13年	4月 美濃加茂中学校開校
平成14年	10月 美濃加茂高等学校創立30周年記念式典
平成16年	3月 学校法人愛美学園が設置する美濃加茂中学校及び美濃加茂高等学校を分離
	4月 学校法人美濃加茂学園設立
平成17年	3月 美濃加茂中学校鉄筋3階建校舎完成
平成22年	3月 美濃加茂中学高等学校柔剣道場「隆真館」完成

編集後記

美濃加茂高等学校が昭和48年に開校して以来、同窓生が第35回生13,970名となりました。近年は親子で同窓生という方が増えてきており、我が子を母校に薦めていただき嬉しくも責任を感じております。我が子に母校を自慢できるというのは素晴らしいことだと思います。

そういった美濃加茂高等学校を応援していただけるたくさんの応援団(同窓生)の方々からは非学校の近況を幅広く知らせてほしいとの積極的なご提案をいただき、今回の同窓会報の発行となりました。

創刊号は不安の中発行いたしました。今後1年に1回の発行を目指しておりますので、同窓生のご協力、ご投稿、会報協力金等よろしく申し上げます。

同窓生には、JR東海硬式野球部で監督として活躍の方、京都の料亭で修行し現在は料理研究家として活躍の方など、その道の達人として活躍の方々がたくさんいらっしゃいます。今後の会報で徐々にご紹介させていただく予定です。今後の会報で徐々にご紹介させていただく予定です。今後の会報で徐々にご紹介させていただく予定です。

なお、平成24年の美濃加茂高等学校創立40周年を控え、来年9月頃には同窓会名簿を作成する予定をしておりますので、ご協力の程よろしくお願いたします。

最後に原稿、写真等提供してくださった方々に深く感謝すると共にお礼を申し上げます。

(事務局 加納良祐)